

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和6年6月26日（水）
会議時間 13時30分開会 15時10分閉会
- 2 会議場所 浦幌町役場
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委 員：只野敏彦、川上 均、中河つる子、深沼達生
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 説明員 【浦幌町議会】
議長：森 秀幸、副議長：河内富喜、
議会運営委員会委員長：安藤忠司、副委員長：沼尾昌也、
議員：竹田風子、本間里奈、高橋いづみ、栗山博文、
澤口敏晴、阿部 優、
事務局長：廣富直樹、議事係長：渡部裕貴
- 6 議 件
(1) 浦幌町議会におけるタブレットの活用状況について
(2) 「議会報告会（町民との意見交換会）」、「まちなかカフェDE議会」、
「まちなかおじゃまDE議会」の開催状況等について
(3) その他
- 7 会議内容 別紙のとおり

【開会 13:30】

【歓迎のあいさつ】 浦幌町議会議長 森 秀幸

【清水町議会あいさつ】 議会運営委員長 橋本晃明

(1) 浦幌町議会におけるタブレットの活用状況について

【浦幌町議会事務局長：廣富直樹局長より説明】

(2) 「議会報告会（町民との意見交換会）」、「まちなかカフェDE議会」、
「まちなかおじゃまDE議会」の開催状況等について

【議会運営委員会副委員長：沼尾昌也議員より説明】

【質疑応答】

委員長（橋本晃明）：一般質問も自宅でオンラインで行うのか。

浦幌町議会運営委員会委員長（安藤忠司）：病氣療養もあるし、オンラインでやれるということで、自分だけが映るようにしてやるということにしている。一般質問なので、他の関係についてはオンラインはやらない。ライブ中継もやっているから流れを自宅で見てもらおうという感じである。

只野委員：タブレットの関係で、一般質問をしている時、ネットなどで情報を得ることが多くて、そうなるとタブレットがあったほうが行政側に説明しやすいと思う。しかし、行政側がもっていないとできないと思うが、こういう事例があるとか先進地事例を出すときにタブレットがあった方が両方が見れて説明がしやすいと思ったので、そのような考えがないのかと思い、どのように活用しているのか聞きたかった。

浦幌町議会運営委員会委員長：行政側には言っているけれども、まだやってくれないということで、議員は議場に持ち込める、タブレットの中に今までの議事録、活性化の報告書も全て入っている、議会だよりも、だからこれ一つあれば何年前の議会でも町長がこういうことを言っているということも一般質問で言える。しかし、執行側はそういうものが手元にないから議事録を改めて見なければ答弁もしづらい。一般質問の答弁資料が前日か前々日くらいに載るから、そうすると自分で再質問、再々質問をどうしようかと活用できる。若い議員も便利に利用している。執行側も議員に負けずにやって欲しいと思っている。

只野委員：端末はiPadproでもWi-FiモデルやCellularもあるがどちらなのか。

浦幌町議会運営委員会副委員長（沼尾昌也）：ドコモの回線で使用しているが基本的にはWi-Fiで利用している。

只野委員：ペーパーレス会議システムのサイドボックスの他は何を使っているのか。

浦幌町議会事務局長（廣富直樹）：ペーパーレス会議システムはサイドブックでデータの関係は全てそれに入れているが、iPadでテレビ電話もできるしカレンダーがあればメッセージもあるということで、既存のアプリを使っている。

川上委員：ワードやエクセルは入っていないという部分で使い勝手が悪いということ、サイドブックはワードやエクセルを関連させて利用することはできないのか。

浦幌町議会事務局長：サイドブックは基本的にPDFで、ワード、エクセルは入れられるがセキュリティ上の問題で多少不安があるので、使い勝手が悪いと思われるだろうが、基本的にはこのように使っている。

川上委員：一般質問などを入力する時にはサイドブックの中でできる方法があるのか。

浦幌町議会運営委員会副委員長：人それぞれで、私の場合は自宅のパソコンで色々作って、議場にはPDFで入れている。

浦幌町本間議員：私はGoogleドキュメントを自分のパソコンで作って、リンクを送ればリンクをブラウザで開くことが出来るので、そのようにやるかメールで下書きに残しておいてメールを見るとか。

浦幌町議会竹田議員：入っているドキュメントアプリで作ってワードに変換すると、レイアウトが崩れたりするので、Googleドキュメントで打って事務局に送ったりしている。

浦幌町議会本間議員：カレンダーに事務局が細かく予定を入れてくれているので、集合時間なども逐一通知も来るのでこれを見る。

川上委員：iPadproを使っているが、Airでも性能的には十分ではないかと思うがproの方がいいのか。業者はどこを使われているのか。

浦幌町議会事務局長：一番いいのがproだろうと、更新やバージョンアップなどproの方が早いのではないかということでproにしている。業者はサイドブックに直接連絡をした。通信業者と連携しているようで、道議長会の議員研修会の際に伺って研修を受けたということで、比較はせずに実績などでサイドブックに決めた。

深沼委員：私はパソコンなどを使っていないので、不安なのが導入してから、若い世代の方はすんなり入れるだろうが、皆さんスムーズに出来るようになったのか。

浦幌町議会運営委員会委員長：ワープロの時も手で書いた方が早いのではないかと考えていたが、日にちが経つにつれ変わっていった。ある程度見られるようになってくると議事録や活性化の報告書も見られるようになって助かっている。

浦幌町議会運営委員会副委員長：最初はサイドブックで講習を1回やってもらったのと、事務局が3、4回程タブレットについての講習をやってくれた。

委員長：タブレット以外のものも持っているのか。

浦幌町議会運営委員会副委員長：議案書、決算書、予算書は紙でも配っている。タブレットだけだと大変だと思う。組み合わせることで便利になる。

川上委員：iPadを使っていない時と比べて事務局の作業量や事務量はどうか。

浦幌町議会事務局長：タブレットが無い時期に私は事務局ではなかったが、これを使ったことで事務局は非常に楽になる。招集通知にしてもコスト面においても助かっている。事務局側はペーパーレス化を目指しているので郵送はほとんどなくなった。事務局としては効率化されたと思う。

浦幌町議会運営委員会副委員長：議案書などは全部がペーパーレスになっていないが、追録代や郵送料、それに係る職員の人件費というところだけでも100万円近く経費削減に計算上はなっていると思う。

中河委員：予算書などをタブレットに入れるのに相当な時間がかかるのではないかと、事務局が入れているのか。

浦幌町議会事務局長：サイドボックスに入れるにあたり、複合機でPDF化して入れるだけなので大した手間ではない。

【タブレット実演体験】

川上委員：まちなかおじゃまDE議会は全て記録を取っているのか。

浦幌町議会運営委員会委員長：3班に分かれてカフェDE議会を2時間ずつ行っている。その中で記録をして議運にかけている。録音ではなくメモと写真は了解を得て議会日よりなどに掲載している。

中河委員：若い議員が増えて、まちなかカフェに来られる方も若い方が増えているか。

浦幌町議会運営委員会委員長：若い方を誘ってというのと、議会モニターも議員の友人など以前からみると若い方が議会の関係に来られるというのは変わったと思う。

深沼委員：ナイター議会や日曜議会は今でも続けているのか。

浦幌町議会運営委員会委員長：日曜議会は平成12年くらいからやっている。今は12月の午後1時からやっている。一般質問をやっている。ナイター議会も最初は3月に予算審議を見てもらおうと思ってやったけれども、なかなか町民の方も興味がないのか来てくれないこともあり、2、3年やり今は一般質問でやっていて続いている。

議会事務局長（大尾 智）：意見交換会の説明の中で、町の担当課に戻すという話があったが、それは本来なら町長に言う話を議会が代わりに聞いているということになるのではないかと感じるがいかがか。

浦幌町議会運営委員会委員長：そのとおりだと思っている。町長に言ったところ、御用聞きかという言われ方をしたので、道路だとか木が倒れているとかいうぐらいであれば、担当課に言おうという事にした。政策的なものについては一般質問、決算審議などで質問しようということにした。

【閉会のあいさつ】 清水町議会議長 山下清美

(3) その他

【浦幌町議会 議場見学・記念撮影】

【閉会 15:10】